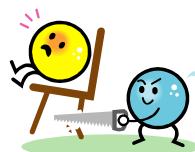




鳥頭でも理解できる「高い出頭率」というウソ！ インコがそのカラクリを

切る

カラクリを切るもなあ〜も、下の表を見れば一目瞭然！ なんですけどもネ



昨年11月末、最高裁は全国約29万5千人の人に「勝手に裁判員候補者名簿に登録したからね」という通知を送りました。

その通知を受け取ったうち、12万人が返送した。内訳は4万5千人が「70歳以上だからやらないよ」2万3千人が「重篤な病気だからできないよ」そして2千人近くが「国会議員だからやらなくていいんだよ」「法務省の職員だからやらないよ」「自衛隊員だ」「弁護士だ」「前科もある」とかの返事を出した。じゃあ、残りは…「やりたくない」と返事した人がほとんどなんですよ！ これに「やりたくない」と返事しても呼び出されるにもかかわらず！！

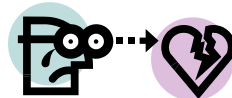
さて、先に欠格事由のある人たちを除いたのに、抽出数Aから呼び出し状送付数がなんで7割くらいに減るのかというと、ここでもた、「絶対やりたくない」という人を除いたからだ。そこから質問票の回答で候補者数をさらに絞り込む。その結果がBなんですよ。そしてホントに来ちゃった人数がC、だからホントの出頭率はA/Cとなる。

「やりたくない人はやらなくてもよい」という裁判員法を無視（自分たちの作った法律をここまで無視するご都合主義、これを弾力運用というらしい）した結果、やってもよいという人だけが残って、出頭率が90%だのなんだのと言っている訳！

裁判所	公判初日	呼び出したかった元々の人数 A	辞退などの結果残った人（呼び出し対象）	さらに辞退などの結果残った人 B	ホントに来ちゃった人 C	ホントの出頭率 A/C
東京	8月3日	100	73	49	47	47.0
さいたま	8月10日	90	69	44	41	45.5
青森	9月2日	100	73	39	34	34.0
神戸	9月7日	90	67	48	42	46.6
大阪	9月8日	70	49	32	29	41.4
さいたま	9月8日	100	76	47	45	45.0
山口	9月8日	90	69	39	35	38.8
福岡	9月9日	80	59	35	31	38.7
和歌山	9月14日	100	69	41	37	37.0
千葉	9月14日	100	80	51	50	50.0
津	9月15日	100	68	49	44	44.0
福岡	9月15日	100	78	47	46	46.0
高松	9月15日	100	60	37	29	29.0
横浜	9月29日	90	68	45	40	44.4
福島・郡山	9月29日	100	80	47	36	36.0
さいたま	9月30日	?	75	41	37	

逆に言えば、断れなくて残っちゃった人と、お上と一緒に人々を裁いてみたいとかの人だけが来たとも言える。

結局、「これだけしか来てくれなかった」というのが正しい言い方だ！！

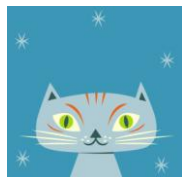
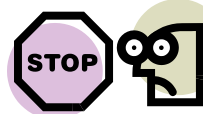


さて、裁判員法は「正当な理由なく出頭しない時は10万円以下の過料」なんて恫喝してます！

**でも、さすが、民の声を聞く裁判所です！  
無断で欠席した人を、これまでタシも処罰していません。  
幅広い辞退も認めています！**

**辞退しましょう！ 行くのをやめましょう！  
人生ほかにすることがある！  
インコにだってほかにすることがある！**

**私の拒否からみんなの拒否へ！  
みんなで拒否して制度を廃止に！**



**インコの独り言：**

インコは呼び出されたら気が弱いからそれだけで「熱があるような気がする」から出頭できないなあ、本当にインフルエンザだったら大変だし…

それでも、人を裁いてみたい、上から目線でものをいってみたい、自分ならきちんと裁く〜なんて思う人がいるんやなあ〜。 それとも2時間サスペンス法廷ドラマの主人公になったつもりなんやろか？